

平成26年度春夏作野菜花き関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

(公財)日本植物調節剤研究協会

平成26年度春夏作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成26年12月17日(水)～18(木)に浅草ビューホテルにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者56名、委託関係者39名ほか、計110名の参集を得て、除草剤28薬剤(120点)、

生育調節剤9薬剤(37点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成26年度春夏作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

注)アンダーラインは新たに判定された部分を示す

A. 野菜関係除草剤		試験の種類・新・継の別	試験担当場所 (試験中など) (枚)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
1. AC-263 液 イソキサゾリンの塩 :0.85% [BASFジャパン]	オキゲン	適用性 新規	北海道花・野菜E J北海道 J十勝 (3)	ねらい	オキゲン出芽直前、雑草発生始期 (北海道:初年目)	処理後30日程度で 雑草調査を行う。	継 ・効果、葉害の確認
				対象 雑草	一年生(科) - 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他		
				設計 薬量 (水量) /10a	茎葉被土壌処理 オキゲン出芽直前、雑草発生始期 200mL<100L>、250mL<100L>、300mL<100L> 対) オキゲン水和剤 播種後出芽前(雑草発生前) 300g<100L>		
2. AH-01 液 アミノネトPトリメ塩 :11.5% [Mitsui Seika 北興化学工業]	アスハラ ガス	適用性 継続	北海道道南(中間) 宮城園研 長野 野花試 (3)	ねらい	オキゲン出芽期、雑草発生始期～発生播期 (北海道:初年目)	処理後30日程度で 雑草調査を行う。	実・継
				対象 雑草	一年生(科) - 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他		
				設計 薬量 (水量) /10a	茎葉被土壌処理 オキゲン出芽期、雑草発生始期～発生播期 200mL<100L>、250mL<100L>、300mL<100L> 対) オキゲン水和剤 播種後出芽前(雑草発生前) 300g<100L>		
				ねらい	多年生雑草、オキゲンへの草種拡大 (収穫打切り後)	雑草の草丈30cm以 下で散布する。 展着剤は不要。	実 [春夏作:一年生雑草] ・萌芽前 ・雑草生育期(草丈30cm以下) ・全面茎葉処理 ・300～500mL<100～150L>/10a [春夏作:一年生雑草、 多年生広葉雑草、(科) ・収穫打ち切り後、雑草生育期 (草丈30cm以下) ・全面茎葉処理 ・500～1000mL<100～150L>/10a 継) ・収穫打ち切り後全面処理での多年 生雑草、多年生(科)雑草に対 する効果の確認
				対象 雑草	一年生(科) - 一年生広葉 全般 多年生(科) 全般 多年生広葉 全般 その他 対)		
				設計 薬量 (水量) /10a	全面茎葉散布 収穫打切り直後・雑草生育期(草丈30cm以下) 500mL<100L>、500mL<150L>、 1000mL<100L> 対) カリソルゲル10液剤 収穫打切り直後・雑草生育期(草丈30cm以下) 1000mL<100L>		

A. 野菜関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種・類 新・継 別	試験担当場所 (>は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容	
3. AK-01 液 ジメチルアミン塩・ピロリジン 塩:41% [TAC普及会]	トマト	適用性 継続	植調研 長野 野花試 <中間> 福岡 八女 鹿児島 熊毛 (4)	ねらい 対象 雑草 - 1年生仔苗 - - 1年生広葉 全般 - 多年生仔苗 - - 多年生広葉 - その他	ねらい 耕起前又は植付前(東北以南)	効果確認は完成後 (処理2週間が目安) に行い、調査後に耕 起または植付を行 う。 展着剤は加用しな い。	実	実) [春夏作;一年生雑草] ・耕起または植付7日以前、雑草生育 期 (草丈30cm以下) ・全面葉処理 ・250~500mL/10a
		倍量葉害 継続	鹿児島 熊毛 (1)	ねらい 対象 雑草 - 1年生仔苗 - - 1年生広葉 - - 多年生仔苗 - - 多年生広葉 - その他	ねらい 倍量葉害(植付直前)	周縁作物にかから ないよう散布する。 展着剤は加用しな い。		
4. ANK-553 (改) 乳 ベンゾイミダゾール:30% [BASFジャパン]	トマト	適用性 継続	北海道十勝 (1)	ねらい 対象 雑草 - 1年生仔苗 全般(スノコウ科を含む) - 1年生広葉 全般(キ科、ユズ科を除く) - 多年生仔苗 - - 多年生広葉 - その他	ねらい 畦間処理(北海道:2年目)	処理後30日程度で 雑草調査を行う。 有効な土壌処理剤 との体系で使用す る。	実・継	実) [春夏作、露地・一年生雑草 (但しキ科、ユズ科は除く)] ・植付後萌芽前、雑草発生前 ・全面土壌処理 ・200~400mL/70~100L/10a [春夏作、露地:一年生雑草 (但しキ科、ユズ科は除く)] ・生育期、仔科雑草1葉期まで ・畦間土壌処理 ・200~400mL/100L/10a
		適用性 継続	青森 野菜研 長野 野花試 <中間> 鹿児島 熊毛 (3)	ねらい 対象 雑草 - 1年生仔苗 全般 - 1年生広葉 全般(キ科、ユズ科を除く) - 多年生仔苗 - - 多年生広葉 - その他	ねらい 畦間処理(東北以南:2年目)	処理後30日程度で 雑草調査を行う。 有効な土壌処理剤 との体系で使用す る。		継) ・畦間処理での効果、葉害の確認 ・畦間処理での葉量200mL/10aにおけ る効果の年次変動の確認
5. BAS-656 乳 ジメチルアミン:P:64.0% [BASFジャパン]	トマト	適用性 新規	宮崎 畑園 鹿児島大隅 (2)	ねらい 対象 雑草 - 1年生仔苗 全般 - 1年生広葉 全般(キ科、ユズ科を除く) - 多年生仔苗 - - 多年生広葉 - その他	ねらい 植付後、雑草発生前(初年目)	処理後30日程度で 雑草調査を行う。	継	継) ・効果、葉害の確認
		適用性 継続	北海道道南 J北海道 (2)	ねらい 対象 雑草 - 1年生仔苗 全般(スノコウ科を含む) - 1年生広葉 全般(キ科、ユズ科を除く) - 多年生仔苗 - - 多年生広葉 - その他	ねらい 50mL/10aでの年次変動、 75mL/10a拡大(北海道:2年目)	処理後30日程度で 雑草調査を行う。	実・継 実	実) [春夏作、露地:一年生雑草(キ科、ユ ズ科、ユズ科を除く)] ・定植後、雑草発生前 ・全面土壌処理 ・50~7075mL/100L/10a 注) ・夏期高温時での使用を避ける 継) ・年次変動の確認(北海道)
		適用性 継続	広島 島 鹿児島 (2)	ねらい 対象 雑草 - 1年生仔苗 全般 - 1年生広葉 全般(キ科、ユズ科、ユズ科を除く) - 多年生仔苗 - - 多年生広葉 - その他	ねらい 75mL/10aへの拡大(東北以南:初年目)	処理後30日程度で 雑草調査を行う。		
				設計 葉量 <水量> /10a 全面土壌処理 定植後、雑草発生前 50mL <100L>、75mL <100L> 対) 77~80%水和剤 定植後、雑草発生前 300g <100L>				

A. 野菜関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種・道 新・継 別の	試験担当場所 〔は試験中など (数)〕	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
6. KUH-043 顆粒水和 ピロキシメホリン:50% 〔ヤマ/化学工業〕	トマト	適用性 継続	北海道花・野菜 北海道北見 J北海道 (3)	ねらい 定植後、雑草発生前(北海道:2年目) 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /10a 土壌処理 定植後(雑草発生前) 20g <100L>, 30g <100L>, 40g <100L> 対) コーギー水剤 定植後(雑草発生前) 300mL <100L>		実	実) 〔春夏作、露地:一年生雑草〕 ・定植後、雑草発生前 ・全面土壌処理 ・20~40g<100L>/10a
7. NC-622 液 アミダリンナリル:48% 〔日産化学工業〕	トマト	倍量薬害 新規	北海道北見 J北海道 (2)	ねらい 対象 雑草 一年生/科 - 一年生広葉 - 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /10a 倍量薬害(定植14日前) 茎葉処理(全面茎葉処理) アミダリン 定植14日前 2000mL <25L>, 4000mL <25L>		実・継 実 (従来 どおり)	実) 〔春夏作、露地:茎葉〕 ・収穫後 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・全面茎葉処理 ・1500~2000mL<25~100L>/10a (水量25~50Lは専用ノズルを使用する) 継) ・年次変動の確認
8. NH-007 フォアフル クワシロトイブトピル 塩:30.0% ピラフルンコホリン:0.16% 〔日本農業〕	トマト	適用性 継続	埼玉 病害虫 京都 丹後 鹿児島 (3)	ねらい 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /10a 畦間処理 雑草生育期 雑草生育期 400mL <100L>, 600mL <100L> 対) ハス液剤 雑草生育期 雑草生育期(畦間処理) 500mL <100L>	展着剤は不要。 飛散防止ノズルを使用する。 雑草の草丈が30cm 以下の時期に散布 する。	実・継 (従来 どおり)	実)〔春夏作:一年生雑草〕 ・耕起または定植前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・全面茎葉処理 ・400~600mL<100L>/10a 継) ・定植直前処理での薬害について年 次変動の確認 ・畦間処理における効果、薬害の確認
9. NK-1101 水和 S-メチルアミン:24.8% プロピル:26.6% 〔日本化学〕	トマト	適用性 継続	北海道花・野菜 J北海道 (2)	ねらい 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /10a 定植後、雑草発生前(北海道:2年目) 全面土壌処理 定植後(雑草発生前) 150g <70L>, 150g <100L>, 225g <70L> 対) コーギー水和剤 定植後(雑草発生前) 300g <100L>		実	実) 〔春夏作、露地:一年生雑草〕 ・定植後、雑草発生前 ・全面土壌処理 ・150~225g<70~100L>/10a
	ニンジン	適用性 継続	北海道上川 J北海道 (2)	ねらい 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /10a 播種後出芽前、雑草発生前(北海道:2年目) 全面土壌処理 播種後出芽前(雑草発生前) 150g <100L> 対) コーギー水和剤 播種後出芽前(雑草発生前) 200g <100L>		実・継 実 (従来 どおり)	実) 〔春夏作、露地:一年生雑草〕 ・播種後出芽前、雑草発生前 ・全面土壌処理 ・150g<100L>/10a 継) ・年次変動の確認(北海道)
	ヤマ/モ	適用性 継続	北海道十勝 (1)	ねらい 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /10a 植付後萌芽前、雑草発生前(北海道:2年目) 全面土壌処理 植付後萌芽前(雑草発生前) 225g <100L>, 300g <100L> 対) コーギー水和剤 植付後萌芽前(雑草発生前) 400g <100L>		実・継 (従来 どおり)	実) 〔春夏作、露地:一年生雑草〕 ・植付後萌芽前、雑草発生前 ・全面土壌処理 ・225~300g<100L>/10a 継) ・年次変動の確認(北海道) ・畦間処理での効果、薬害の確認
		適用性 新規	青森 野菜研 長野 野化試 〔中間〕 鹿児島 熊毛 (3)	ねらい 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /10a 畦間土壌処理(東北以南:初年目) 畦間土壌処理 萌芽後(1科雑草2葉期まで) 225g <100L>, 300g <100L> 対) コーギー水和剤 萌芽後、(1科雑草)1~2葉期 400g <100L>			

A. 野菜関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・ 規 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (效)	ねらい・試験設計 等	備 考	判定	判定内容
10. NP-55 乳 剤タイプA:20% [日本曹達]	トマト	適用性 新規	千葉大環境健康 F 長野 野花試 J鹿児島大隅 (3)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般(スズメノカタビラを除く) 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 茶葉処理 生育期、雑草生育期(1年生(科雑草)3-6葉期 150ml<100L>, 150ml<150L>, 200ml<100L>	展着剤は不要	継	継) ・効果、葉害の確認
11. S-482 顆粒水和 剤タイプN:50% [住友化学]	トマト	作用性 新規	北海道十勝	ねらい 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 全圃土壌処理 植付後萌芽前(雑草発生前) 5g<100L>, 10g<100L>, 20g<100L>(倍量) 対) コツクス水和剤 植付直後 200g<100L>	1年生(科)が多発する場合は他剤で防除を行う。	-	<作用性>
12. SL-122 顆粒水和 剤タイプA:7% タイプB:7% タイプC:30% [石原産業 *石原ハイツ(株)]	ニンジン	適用性 新規	北海道上川 北海道 (2)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 土壌処理 播種後出芽前、雑草発生前 200g<100L>, 250g<100L> 対) コツクス水和剤 播種直後 150g<100L>	展着剤は不要 残効期間を記録する。	実・継	実) [春夏作、露地:一年生雑草] ・播種後出芽前、雑草発生前 ・全圃土壌処理 ・200~250g<100L>/10a [春夏作、露地:一年生雑草] ・生育期(1~2葉期) ・雑草生育期(草丈20cm以下) ・全圃茶葉兼土壌処理 ・200~250g<100L>/10a [春夏作、露地:一年生雑草] ・生育期(3~5葉期) ・雑草生育期(草丈20cm以下) ・170~250g<100L>/10a 注) ・ニンジン生育期の処理では褐変、葉枯れを生じる場合がある
	ニンジン	適用性 継続	青森 野菜研 栃木 (2)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 茶葉兼土壌処理 播種後出芽前、雑草発 生前 200g<100L>, 250g<100L> 対) 一任	展着剤は不要 残効期間を記録する。	継	継) ・ニンジン出芽前期処理での効果の確認 ・生育期処理での葉害の確認 ・播種後出芽前処理での年次変動の確認(北海道)
13. WOC-01 液 剤タイプA:7% タイプB:7% タイプC:41.0% [三井化学アグロ]	トマト	適用性 新規	植調研 J京都園芸 J鹿児島大隅 (3)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 全圃茶葉処理 播起又は定植7日前まで 250ml<25L>, 250ml<100L>, 500ml<25L> 対) アグロアグロタイプA 播起又は定植7日前 500ml<100L>	展着剤は不要 散布水量25Lは少量散布用ノズルを使用する。 播起又は定植の14日~7日前を目安に処理を行う。 雑草の生育期に草丈30cm以下で処理する。	実	実) [春夏作:一年生雑草] ・播起または定植7日前、雑草生育期(草丈30cm以下) ・全圃茶葉処理 ・250~500ml<25~100L>/10a (水量25~50Lは専用ノズルを使用する)
		倍量薬害 新規	J京都園芸 J鹿児島大隅 (2)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 全圃茶葉処理 定植7日前 500ml<25L>, 1000ml<25L>(倍量)	展着剤は不要 少量散布用ノズルを使用する。 播起後に、定植7日前で薬剤処理を行う。		

A. 野菜関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種 類 新・ 継 の 別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判定	判定内容
13. ROC-01 液つづき 【委託者】	トマト	適用性 新規	横調研 J京都園芸 J鹿児島大隅 (3)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生(葉) 全般 多年生(科) - 多年生(葉) - その他 - 設計 薬量 (水量) /10a 全面草葉処理 播起又は定植7日前まで 250ml <25L>, 250ml <100L>, 500ml <25L> 対) ラウンドアップ マックスロー 播起又は定植7日前 500ml <100L>	展着剤は不要 散布水量25Lは少量散布用ノズルを使用する。 播起又は定植の14日～7日前を目安に処理を行う。 雑草の生育期に草丈30cm以下で処理する。	要	実) [春夏作: 一年生雑草] ・ 播起または定植7日前、 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 全面草葉処理 ・ 250～500ml<25～100L>/10a (水量25～50Lは専用ノズルを使用する)
		倍量薬害 新規	J京都園芸 J鹿児島大隅 (2)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) - 一年生(葉) - 多年生(科) - 多年生(葉) - その他 - 設計 薬量 (水量) /10a 全面草葉処理 定植7日前 500ml <25L>, 1000ml <25L>	展着剤は不要 少量散布用ノズルを使用する。 播起後に、定植7日前で薬剤処理を行う。	-	
14. リコン 水和 剤:50.0% 【TKI社(米国)】	アスパラガス	作用性 新規	J北海道 (1)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) - 一年生(葉) 全般 多年生(科) - 多年生(葉) - その他 - 設計 薬量 (水量) /10a 全面草葉処理 萌芽初期、雑草発生播期 150g <100L>, 200g <100L> 対) リコン水和剤 萌芽初期、雑草発生播期 150g <100L>	展着剤は不要。	-	<作用性>
		継	適用性 継続 青森 野菜研 新潟 園研 千葉 大環境健康 F 京都 丹後 鹿児島 (5)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) - 一年生(葉) 全般 多年生(科) - 多年生(葉) - その他 - 設計 薬量 (水量) /10a 全面草葉処理 継 定植後、雑草発生播期 75g<100L>, 100g<100L>, 150g <100L> 対) ベイシ液剤 継 定植活着後、雑草発生播期(畦間処理) 300ml <100L>	必要に応じて(科)雑草の防除を行う。 展着剤は不要 草葉処理剤として抜取調査時間の設定を参照。参考として、播草期間の観察調査も行う。 本剤処理前の病害虫防除は1週間以上間隔をあげる。また、連続で病害虫防除を実施した場合は、処理日と薬剤名の記録する。	実・継 (従来どおり)	実) [春夏作、露地: 一年生雑草] ・ 定植活着後 雑草発生前 ・ 畦間土壌散布 ・ 100～150g<70～150L>/10a 継) ・ 定植活着後、雑草発生播期、全面草葉処理での効果、薬害の確認

B. 平成25年度 春夏作分 野菜関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種 類 新・ 継 の 別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判定	判定内容
1. NC-622 液 7.9%+1.0%塩:48% 【日産化学工業】	トマト	適用性 継続	J北海道 (1)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) - 一年生(葉) 全般 多年生(科) - 多年生(葉) - その他 残葉 設計 薬量 (水量) /10a 草葉処理(全面草葉処理) トマト 収穫後、トマト生育期(草丈30cm以下) 1500ml <25L>, 1500ml <100L>, 2000ml <25L>		-	(B26判定参照)

C. 花き関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種・道 新・継 の 別	試験担当場所 <は試験中など (数)>	ねらい・試験設計 等	備 考	判定	判定内容
1. AK-01 液 アセト・トリフルロロピロリン酸 塩・41% [TAC普及会]	ツツジ ・ササキ	適用性 新規	三重 鈴鹿 島取 園試 新 中国G研	ねらい (3) 対象 雑草 樹冠下(一年生雑草) 一年生仔科 全般 一年生広葉 全般 多年生仔科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水液) /10a 樹冠下雑草葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 250ml<50L>, 250ml<100L>, 500ml<50L> 対) 草枯らしMIC 雑草生育期(草丈30cm以下) 250ml<100L>	調査は、効果最大時 (処理後10~20日を 目安)に行う。 花木に飛散しない ように散布する。 展着剤は加用しな い。	継	継) ・効果、葉害の確認
		倍量薬害 新規	島取 園試 新 中国G研	ねらい (2) 対象 雑草 倍量薬害(樹冠下) 一年生仔科 - 一年生広葉 - 多年生仔科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水液) /10a 樹冠下雑草葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 500ml<50L>, 1000ml<50L>			
2. ANK-553 細粒 ベンチイリジン・2% [BASFジャパン]	キク	適用性 継続	広島 鹿見島	ねらい (2) 対象 雑草 定植後、雑草発生前(2年目) 一年生仔科 全般 一年生広葉 全般(キ科、ユキ科を除く) 多年生仔科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水液) /10a 全面土壌処理 定植後、雑草発生前 4kg, 5kg, 6kg 対) クマド粒剤 定植後、雑草発生前 5kg	処理後30日程度で 雑草調査を行う。	継	継) ・効果、葉害の確認
		適用性 継続	広島 香川	ねらい (2) 対象 雑草 定植後への処理時期拡大(2年目) 一年生仔科 全般 一年生広葉 全般(キ科、ユキ科を除く) 多年生仔科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水液) /10a 全面土壌処理 定植後、雑草発生前 200ml<70L>, 200ml<150L>, 400ml<70L> 対) ツツジ・ササキ水和剤 定植後、雑草発生前 300g<100L>			
3. ANK-553(改) 乳 ベンチイリジン・30% [BASFジャパン]	キク	適用性 継続	広島 香川	ねらい (2) 対象 雑草 定植後への処理時期拡大(2年目) 一年生仔科 全般 一年生広葉 全般(キ科、ユキ科を除く) 多年生仔科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水液) /10a 全面土壌処理 定植後、雑草発生前 200ml<70L>, 200ml<150L>, 400ml<70L> 対) ツツジ・ササキ水和剤 定植後、雑草発生前 300g<100L>	処理後30日程度で 雑草調査を行う。	実・継 (従来 どお り)	実) [春夏作; 一年生雑草(キ科を除く)] ・定植前、雑草発生前 ・全面土壌処理 ・300~400ml<70~150L>/10a 継) ・定植後、雑草発生前での効果、葉 害の確認
		適用性 継続	千葉大 園芸 南九州大	ねらい (2) 対象 雑草 樹冠下(一年生雑草、多年生広葉) 一年生仔科 全般 一年生広葉 全般 多年生仔科 - 多年生広葉 全般 その他 - 設計 薬量 (水液) /10a 土壌処理 雑草生育期(草丈10cm以下) 20kg, 30kg, 40kg			
4. GG-180 粒 ジメチル・ピコリン・1.0% DRN・0.5% [保土谷アグロテック]	ツバキ ・ササキ	適用性 継続	千葉大 園芸 南九州大	ねらい (2) 対象 雑草 樹冠下(一年生雑草、多年生広葉) 一年生仔科 全般 一年生広葉 全般 多年生仔科 - 多年生広葉 全般 その他 - 設計 薬量 (水液) /10a 土壌処理 雑草生育期(草丈10cm以下) 20kg, 30kg, 40kg	実・継	実)	実) [(ツツジ・ササキ、ツバキ・ササノハ); 一年生雑草] ・生育期、雑草生育期(草丈10cm以下) ・土壌処理 ・20~40kg/10a 注) ・樹幹、枝葉にかからないように散 布する 継) ・ササキに対する効果の確認 ・連年処理した場合の葉害の確認 ・多年生広葉雑草に対する効果の確認
		適用性 継続	福島 栃木 三重 鈴鹿 福岡 苗木	ねらい (4) 対象 雑草 樹冠下(一年生雑草、多年生広葉) 一年生仔科 全般 一年生広葉 全般 多年生仔科 - 多年生広葉 全般 その他 - 設計 薬量 (水液) /10a 土壌処理 雑草生育期(草丈10cm以下) 20kg, 30kg, 40kg 対) シベニド・アグロ粒剤 雑草生育期(草丈10cm以下) 20kg			

C. 花き関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種 類 新・雜 の 別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判定	判定内容
6. GG-191 粒 ジフベンゾ酸・チア DBN:0.5% N:P:K:Mg=11:8:7:3 【保上谷(株)】	アザ ・チ	適用性 雜統	栃木 J埼玉 三重 鈴鹿 福岡 苗木 (4)	ねらい	樹冠下(一年生雑草、多年生広葉)		実・雜 (実) [(アザ)・チ]; 一年生雑草 ・生育期、雑草生育期(草丈10cm以下) ・土壌処理 ・20~40kg/10a (注) ・樹幹、枝葉にかからないように散 布する ・生育の進んだ雑草には効果が劣る 場合がある (雜) ・多年生広葉雑草に対する効果の確認 ・連年処理した場合の葉害の確認
				対象 雑草	一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 全般 その他 -		
7. HW-953 粒 ジフベンゾ酸:1.0% DCBN:1.5% DCMU:3.0% 【保上谷(株)】	アザ ・チ	適用性 新規	福島 栃木 東京 三重 鈴鹿 (4)	ねらい	樹冠下(一年生雑草、多年生広葉、スギナ)		実・雜 (実) [(アザ)・チ]; 一年生雑草、 多年生広葉雑草 ・生育期、雑草生育期(草丈15cm以下) ・土壌処理 ・10~20kg/10a (注) ・樹幹、枝葉にかからないように散 布する (雜) ・スギナに対する効果の確認 ・連年処理した場合の葉害の確認
				対象 雑草	一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 全般 その他 スギナ		
8. MBH-096E 乳 ベノコロン酸2.5% 【丸和(株)】	アザ ・チ	適用性 新規	栃木 千葉大 園芸 東京 (3)	ねらい	樹冠下(一年生雑草、多年生広葉、スギナ)		雜 (雜) ・効果葉害の確認
				対象 雑草	一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 全般 その他 スギナ		
8. MBH-096E 乳 ベノコロン酸2.5% 【丸和(株)】	アザ ・チ	作用性 雜統	福調研 (1)	ねらい	対象作物への影響を確認する。	専用ボトルを使用し て下さい。	実 (実) [(アザ)・チ]; 一年生雑草、多年生雑草 ・生育期、雑草生育期 ・雑草茎葉処理 ・100~150ml/m ² (希釈せずそのまま散布) (注) ・専用の容器を使用する ・雑草の草丈20cm以下で使用する ・作物に飛散しないように散布する
				対象 雑草	一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 -		
		作用性 雜統	三重 鈴鹿 福岡 (2)	ねらい	樹冠下(微量ベノコロン酸、対象作物への影響)	専用ボトルを使用す る。 花木に飛散しない よう散布する。	
対象 雑草	一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) 全般 多年生広葉 全般 その他 -	設計 薬量 (水量) /10a 樹冠下雑草茎葉処理 雑草生育期(草丈20cm以下) 100ml/m ² 〈希釈せずそのまま散布〉 150ml/m ² 〈希釈せずそのまま散布〉 300ml/m ² (倍量)〈希釈せずそのまま散布〉 対) 草退治(ケイワ) 剤 雑草生育期(草丈20cm以下) 20ml/m ² 〈希釈せずそのまま散布〉					
適用性 雜統	福島 東日本G研 栃木 千葉大 園芸 新中国G研 南九州大 (6)	ねらい	樹冠下(一年生雑草、多年生雑草)	専用ボトルを使用す る。 花木に飛散しない よう散布する。 効果の発現時、効果 の完成時の調査を 行う。 また、アザ、チへの 影響を確認する。			
対象 雑草	一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) 全般 多年生広葉 全般 その他 -	設計 薬量 (水量) /10a 樹冠下雑草茎葉処理 雑草生育期(草丈20cm以下) 100ml/m ² 〈希釈せずそのまま散布〉 150ml/m ² 〈希釈せずそのまま散布〉 対) 草退治(ケイワ) 剤 雑草生育期(草丈20cm以下) 20ml/m ² 〈希釈せずそのまま散布〉					

C. 花き関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種・類 新・種 別	試験担当場所 (試験中など) (枚)	ねらい、試験設計等	備考	判定	判定内容
9. MBI-098E 乳 ベータシロ酸:30% 【丸和ベイワキカ】	ワツシ ・ワツキ	作用性 雑草	三重 鈴鹿 J福岡 (2)	ねらい	樹冠下(殺草剤)ワツキ、対象作物への影響 一年生雑草 全般 一年生広葉 全般 多年生雑草 全般 多年生広葉 全般 その他	実	実 【ワツシ・ワツキ】:一年生雑草、多年生雑草 ・生育期、雑草生育期 ・雑草茎葉処理 ・6.7~10L<100~150L>/10a 注) ・雑草の草丈20cm以下で使用する ・作物に飛散しないように散布する
				設計 薬量 <水量> /10a			
		適用性 雑草	福島 東日本G研 栃木 J埼玉 新中国G研 南九州大 (6)	ねらい	樹冠下(一年生雑草、多年生雑草) 一年生雑草 全般 一年生広葉 全般 多年生雑草 全般 多年生広葉 全般 その他	実	実 【ワツシ・ワツキ】:一年生雑草、多年生雑草 ・生育期、雑草生育期 ・雑草茎葉処理 ・6.7~10L<100~150L>/10a 注) ・雑草の草丈20cm以下で使用する ・作物に飛散しないように散布する
				設計 薬量 <水量> /10a			
10. NI-007 ワツシ ・ワツキ 有効成分:30.0% βシロ酸:0.16% 【日本農業】	ワツシ	適用性 雑草	香川 福岡 鹿児島 沖縄 (4)	ねらい	耕起前、雑草生育期(2年目) 一年生雑草 全般 一年生広葉 全般 多年生雑草 - 多年生広葉 - その他 -	実	実 【春夏作:一年生雑草】 ・耕起前、雑草生育期(草丈50cm以下) ・茎葉処理 ・400~600mL<100L>/10a
				設計 薬量 <水量> /10a			
		倍量薬害 雑草	沖縄 (1)	ねらい	倍量薬害(耕起前) 一年生雑草 - 一年生広葉 - 多年生雑草 - 多年生広葉 - その他 -	実	実 【春夏作:一年生雑草】 ・耕起前、雑草生育期(草丈50cm以下) ・茎葉処理 ・400~600mL<100L>/10a
				設計 薬量 <水量> /10a			
11. NP-55 乳 βシロ酸:20% 【日本曹達】	ワツシ ・ワツキ	適用性 雑草	岩手 (1)	ねらい	存科雑草3~6薬期(年次変動の確認) 一年生雑草 全般(スズリカサネを除く) 一年生広葉 全般 多年生雑草 全般 多年生広葉 全般 その他	実	実 【春夏作:一年生存科雑草】 ・生育期、存科雑草3~6薬期 ・全面茎葉処理 ・150~200mL<100~150L>/10a 注) ・年次変動の確認
				設計 薬量 <水量> /10a			

D. 平成25年度 春夏作分 花き関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種・類 新・種 別	試験担当場所 (試験中など) (枚)	ねらい、試験設計等	備考	判定	判定内容
1. MBI-096E 乳 βシロ酸:2.5% 【丸和ベイワキカ】	ワツシ ・ワツキ	適用性 新現	東日本G研 J福岡 (2)	ねらい	樹冠下における一年生雑草、 多年生雑草に対する適用性の検討 一年生雑草 全般 一年生広葉 全般 多年生雑草 全般 多年生広葉 全般 その他	-	(H26年度参照)
				設計 薬量 <水量> /10a			

D. 平成25年度 春夏作分 花き関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種・類 新・継 の 別	試験担当場所 (○は試験中など (抜))	ねらい・試験設計 等	備考	判定	判定内容
1. MBI-096E乳つづき 〔委託者〕	ワタ ・ワタ	信量薬害 新規	東日本G研	ねらい (1) 対象 雑草 一年生(田) - 一年生(菜) - 多年生(田) - 多年生(菜) - その他 - 設計 薬量 (水量) /10a 樹冠下雑草芽処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 150ml/m ² <希釈せずそのまま散布> 300ml/m ² <希釈せずそのまま散布>		-	(H26年度参照)
2. MBI-098E 乳 ベツロン酸30% 〔丸和(株)特効科〕	ワタ ・ワタ	適用性 新規	東日本G研 J福岡	ねらい (2) 対象 雑草 一年生(田) 全般 一年生(菜) 全般 多年生(田) 全般 多年生(菜) 全般 その他 - 設計 薬量 (水量) /10a 樹冠下雑草芽処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 6.7L<100L>, 6.7L<150L>, 10L <100L> (対) 草退治(ワタ付) 20ml/m ² <希釈せずそのまま散布>		-	(H26年度参照)
		信量薬害 新規	東日本G研	ねらい (1) 対象 雑草 一年生(田) - 一年生(菜) - 多年生(田) - 多年生(菜) - その他 - 設計 薬量 (水量) /10a 樹冠下雑草芽処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 10L <100L> 20L <100L> (信量区)			

E. 野菜関係生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種・類 新・継 の 別	試験担当場所 (○は試験中など (抜))	ねらい・試験設計 等	備考	判定	判定内容
1. KT-30S 液 57.7%7-エニユール<0.1% 〔協和発酵(株)〕	トマト	適用性 継続	石川 砂丘地 千葉 北総東総	ねらい (2) 設計 薬量 (水量) /10a 着果促進(5ppm拡大:2年目) 子房部散布 開花当日 5ppm <0.3~0.5ml/子房> (対) 無処理(人工授粉のみ) (対) KT-30S 子房部散布 開花当日 10ppm <0.3~0.5ml/子房>	着果率、重量、糖度、 果形を調査 処理前の人工授粉 は必ず行う。 施設またはトンネル栽培 で実施。	実・継 (従来 どお り)	実 〔○はおよびね早熟・着果促進〕 (果梗部散布処理) ・開花前~当日 ・100~500ppm ・要受粉 (子房部散布処理) ・開花当日 ・10~20ppm<0.3~0.5ml/子房> ・要受粉 継 ・薬量と品質の影響について ・低薬量(5ppm)での効果、葉害の確認
1. KT-30S 液 57.7%7-エニユール<0.1% 〔協和発酵(株)〕	トマト	適用性 継続	栃木 長野 岐阜 岐阜<中間> 岡山 岡山 広島 広島 大分 大分	ねらい (6) 設計 薬量 (水量) /10a 放射状裂果軽減(2年目) 幼果に散布 幼果期(果実径3~4cm大期) 5ppm <5ml/果房> 10ppm <5ml/果房> 20ppm <5ml/果房> (対) 無処理	放射状裂果の発生程度、 果実品質、他の裂果への 効果についても確認 着果促進剤の使用有無 について明記(比較対象が ない) 処理時期の目安は果房の 第1果がじょう玉程度 の大きさになった頃	継	継 ・効果、葉害の確認
2. SVJ-213 フォアール ハブアクトール :21.5% 〔シダ・インク(株)〕	ミニトマト	適用性 継続	栃木 愛知	ねらい (2) 設計 薬量 (水量) /10a 25苗育苗期の伸長抑制効果の検討 (適用性:2年目) 播種穴裏液下処理 播種後覆土前 15万倍希釈(1.5ppm) <0.2ml/播種穴> 7万5千倍希釈(3.1ppm) <0.2ml/播種穴> 1万5千倍希釈(5.1ppm) <0.2ml/播種穴>	代表的な品種を選び、1.5 時までの伸長抑制効果を確認 する。 育苗には128穴(4.9cm ²) を使用する 伸長抑制効果の調査は1.5時 時および定植時にを行い、主 長、全節間長、最大葉長を測定 する。気象調査では、3段階 程度の10株の規模を確認し、 収量および総重量を測定 する。	継	継 ・効果、葉害の確認

F. 花き関係生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ＜は試験中など (枚)	ねらい	ねらい・試験設計 等	備 考	判定	判定内容
1. DAZ-85 顆粒水溶 剤「シラソ」:85% 【ファイン アグロミカス」リ ミット】	シラソ	作用性 新規	北海道花・野菜等 (1)	ねらい 設計 葉量 <水取> /10a	花梗・葉柄の伸長抑制(北海道) 噴霧 花芽摘期 200倍<7mL/4号鉢>、300倍<7mL/4号鉢> 噴霧 花芽摘期および花梗再伸長時2回 200倍(3回処理)<7mL/4号鉢> 300倍(3回処理)<7mL/4号鉢>	伸長性の高いF1を使用 する。 花梗・株高・株張りを調 査する。 葉害・個体(株或いは鉢) の枚と症状を記録する。	継	継) ・効果、葉害の確認
		適用性 新規	栃木<中間> 岐阜 中津川 (2)	ねらい 設計 葉量 <水取> /10a	花梗・葉柄の伸長抑制(東北以南) 噴霧 花芽摘期 200倍<7mL/4号鉢>、300倍<7mL/4号鉢> 噴霧 花芽摘期および花梗再伸長時2回 200倍(3回処理)<7mL/4号鉢> 300倍(3回処理)<7mL/4号鉢> 100倍(3回処理)<7mL/4号鉢>(倍量)	伸長性の高いF1を使用 する。 花梗・株高・株張りを調 査する。 葉害・個体(株或いは鉢) の枚と症状を記録する。		
2. NPK-063 水和 剤「カイズミドリ」:50% 【日本農業】	カイズミ ドリ	適用性 継続	千葉大 園芸 <中間> 福岡 苗木<中間> > <南九州大> (3)	ねらい 設計 葉量 <水取> /10a	新梢伸長抑制による剪定軽減 全面均一土壌散布 萌芽2週間前または新梢伸長開始2週間前 800g<100L>、800g<300L>、2000g<100L 対)「グリーンフィールド」粒剤 全面土壌混和 萌芽2週間前または新梢伸長開始2週間前 10~20kg<100L>	樹高、樹径、新梢長、新梢 枚、葉張を調査する。 最終調査時に処理前の 樹高で割り込み、割り取 り部位の生重、乾物重を 測定する。 調査は処理後3ヶ月、6ヶ月、9ヶ月を日毎とする。	実・継 (従来 どお り)	実) 【「カイズミドリ」新梢伸長抑制による 剪定軽減] ・萌芽2週間前または新梢伸長開始2 週間前 ・土壌処理 ・800~2000g(100~300L)/10a
		倍量薬 害 新規	福岡 苗木<中間> > <南九州大> (2)	ねらい 設計 葉量 <水取> /10a	倍量薬害 全面均一土壌散布 萌芽2週間前または新梢伸長開始2週間前 2000g<100L>、4000g<100L>(倍量)			
	ミドリ	適用性 継続	千葉大 園芸 <中間> 東京<中間> 福岡 苗木<中間> > (3)	ねらい 設計 葉量 <水取> /10a	新梢伸長抑制による剪定軽減 全面均一土壌散布 萌芽2週間前または新梢伸長開始2週間前 800g<100L>、800g<300L>、2000g<100L 対)「グリーンフィールド」粒剤 全面土壌混和 萌芽2週間前または新梢伸長開始2週間前 10~20kg<100L>		継)	・カイズミドリ、マナシでの効果、 葉害の確認
		倍量薬 害 新規	千葉大 園芸 <中間> 福岡 苗木<中間> > (2)	ねらい 設計 葉量 <水取> /10a	倍量薬害 全面均一土壌散布 萌芽2週間前または新梢伸長開始2週間前 2000g<100L>、4000g<100L>(倍量)			
	ミドリ	適用性 継続	千葉大 園芸 <中間> > <南九州大> (2)	ねらい 設計 葉量 <水取> /10a	新梢伸長抑制による剪定軽減 全面均一土壌散布 萌芽2週間前または新梢伸長開始2週間前 800g<100L>、800g<300L>、2000g<100L 対)「グリーンフィールド」粒剤 全面土壌混和 萌芽2週間前または新梢伸長開始2週間前 10~20kg<100L>		実・継	実) 【生育促進] ・収穫終了時 ・株元散布 ・100~200ppm(5~10mL/株)
		倍量薬 害 新規	千葉大 園芸 <中間> > <南九州大> (2)	ねらい 設計 葉量 <水取> /10a	倍量薬害 全面均一土壌散布 萌芽2週間前または新梢伸長開始2週間前 2000g<100L>、4000g<100L>(倍量)			
3. シベリン 液 剤「シベリン」:0.5% 【協和発酵ペーパ】	シベリン	適用性 継続	山口 花き振替 <中間> (1)	ねらい 設計 葉量 <水取> /10a	株の生育促進 株元散布 収穫後 100ppm<5mL/株>、100ppm<10mL/株> 対) 無処理	越冬芽の形成数及び直 径、欠株数、葉害の有無	実・継	実) 【生育促進] ・収穫終了時 ・株元散布 ・100~200ppm(5~10mL/株)
		適用性 継続 (自主)	岩手<中間> (1)	ねらい 設計 葉量 <水取> /10a	株の生育促進 株元散布 収穫終了時 100ppm<10mL/株(65L/10a)> 100ppm<5mL/株(32.5L/10a)> 200ppm<10mL/株(65L/10a)>(倍量) 対) 無処理	越冬芽の形成数及び直 径、欠株数、葉害の有無		
4. シベリン 液 剤「シベリン」:0.5% 【岩手県農業研究センター】	シベリン	適用性 継続 (自主)	岩手<中間> (1)	ねらい 設計 葉量 <水取> /10a	株の生育促進 株元散布 収穫終了時 100ppm<10mL/株(65L/10a)> 100ppm<5mL/株(32.5L/10a)> 200ppm<10mL/株(65L/10a)>(倍量) 対) 無処理	越冬芽の形成数及び直 径、欠株数、葉害の有無	継) ・年次変動の確認	

G. 平成25年度 春夏作分 花き関係生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種・類 新・継 の 別	試験担当場所 ◎は試験中など (枚)	ねらい・試験設計 等	備 考	判定	判定内容
1. NPK-063 水和 7&47 リン酸:50%	ヒバ	適用性 新規	千葉大 園芸 (1)	ねらい 新植伸長抑制による剪定軽減 設計 全面均一土壌散布 薬量 萌芽2週間前または新植伸長開始2週間前 (水量) 800g<100L>, 800g<300L>, 2000g<100L> /10a 対) リン酸肥料 全面土壌混和 萌芽2週間前または新植伸長開始2週間前 10~20kg		—	(H26年度参照)
2. シベリン 液 シベリン:0.5%	リンゴ	適用性 継続 (自主)	岩手 山形 (2)	ねらい 株の生育促進 設計 株元散布 収穫終了時 薬量 100ppm < 5ml/株 (32.5L/10a)> (水量) 100ppm <10ml/株 (65L/10a)> /10a 200ppm <10ml/株 (65L/10a)> (倍量区) 対) 無処理		—	(H26年度参照)

H. 平成25年度 秋冬作分 花き関係生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種・類 新・継 の 別	試験担当場所 ◎は試験中など (枚)	ねらい・試験設計 等	備 考	判定	判定内容
1. エチホン 液 エチホン:10%	キャベツ	適用性 継続 (自主)	福島 (1)	ねらい 落葉開花促進 設計 株全体に散布 薬量 促成(加温)10日前位 500倍<1L/株> (水量) 促成(加温)10日前 1000倍<1L/株> /10a		継	継) ・効果、薬害の確認